

3.11その日をテレビはどう伝えてきたか —東日本大震災12年 テレビ報道の検証—

古澤 健*

1. はじめに

東日本大震災の発生から12年あまりが経過した。この間、震災報道全体の報道量はしだいに減少し、放送時期が3月に集中していく「3月ジャーナリズム」化が確認され、その傾向はしだいに強まってきていることがわかってきた。震災報道が3月に集中していく中で、象徴的かつ特徴的な意味を持っているのが、震災が発生したその日、「3月11日」にテレビ各局が編成する「特集番組」である。

震災発生から1年後の2012年より、毎年3月11日にはテレビ各局は特別編成を組んで報道にあたってきた。特に、地震が発生した14時46分前後の時間帯は、ほぼすべてのテレビ局が同様の特番を放送するという編成がこの12年間続けられてきた（テレビ東京系列をのぞく）。このように、各局が毎年横並びで同一のテーマについて特番を放送するという現象は、8月6日の広島原爆の日にも、8月15日の終戦の日にも見られない、特別な現象であろう。

毎年3月11日の14時46分前後に放送される震災特番は、時が経つにつれて報道量が減少してきた震災ジャーナリズムにおいて、テレビ各局が「聖域」のように守り続けてきた番組である。それぞれの番組をくわしく観察すると、年ごとに、局ごとに、「震災」のとらえ方の違いが浮かび上がり、また、震災報道がどのように変容し、今後どんな方向に向かっていくのか、その将来像が浮かび上がってくるはずである。

震災報道に関してはこれまでの研究でも、「震災直後の報道」「報道量の経年推移」「ニュース番組やドキュメンタリー番組などの内容分析」など、多様なアプローチで行われてきたが、本研究は、3月11日の14時46分を前後する時間帯含む番組群を対象を絞り、誰もが被災地に思いをはせる瞬間のテレビのありようについて分析・考察を試みるものである。また、これらの番組の傾向をいくつかのパターンに類型化していくことで、今後の震災報道が向かっていく方向性を探る一助となることを目的とする。特に、震災から10年という節目を前後して、震災報道が量的にも質的にもどう変化したかを探っていくことは特に重要な意味を持つと考える。

2. 先行研究と研究対象・方法

2-1. 震災報道をめぐる研究動向

東日本大震災に関する報道について、量的質的な分析は震災発生直後から続けられてきた。田中孝宜（2014）は、NHKについて震災発生時からの最初動の72時間についての報道の検証を行った。その後、原由美子らは、震災発生から3年、5年、7年の節目に際してドキュメンタリー番組や夜の

*ふるさわ たけし NHK 解説委員室 チーフ・プロデューサー、日本大学法学部新聞学研究所 研究員

キャスターニュース番組について震災報道が伝えてきたことについて分析を行った（原由美子2015、2017、原由美子・大高崇2019）。原由美子は震災から5年を経た検証の中で、震災関連報道の減少と放送時期が3月に集中する傾向を明らかにした。そのうえで、戦争や平和について考える報道や番組が8月に集中することを「8月ジャーナリズム」と呼ぶことになぞらえ、「東日本大震災についても『3月ジャーナリズム』という現象が起きているように見える」（原由美子、2017）と指摘した。また、米倉律（2017）は、震災報道の周年報道化について「いわば『3月ジャーナリズム』化」と呼び、継続して検証され続けていくべき課題であるとしている。

原由美子・大高崇（2019）は、震災発生から7年間のテレビ報道の検証の中で震災報道が3月に集中していく傾向を踏まえ、「3月11日を中心とする1週間」「3月11日」「発生時である午後2時46分を含む特集番組」に絞り込んでさまざまな角度から検証を行った。その中で「午後2時46分を含む番組」のテーマの変化について、「2016年までは、追悼行事のほか、被災地の状況、被災者自身の声やその生活、復興の現状・課題」などがおもなテーマであったが、「2017年以降になると、次の災害への備えに関する内容」が増え、「東日本大震災だけでなく、直近の災害への言及」が増え、「さまざまな災害を扱う傾向は、今後ますます強まるのではないか」「当初の被災地の状況や被災死者の生活を伝えるものから、被災時に状況を検証し、次の災害に備えるものへと徐々に比重が移ってきている」としている（原由美子・大高崇2019：107）。

筆者はこれまで、震災発生から10年あまりの間に放送されてきた、おもに「震災関連ドキュメンタリー」について表象やテーマの内容分析を行ってきた中で、震災10年の節目を前後する期間の研究を行ってきた（古澤健・米倉律2022、古澤健2022）。政府が復興の目標としてきた10年が過ぎた今も、東日本大震災（と福島第1原発事故）が積み残した課題は数多い。そこで本研究では、震災10年をはさんだ期間の3.11特番を対象に、その表象とテーマの詳細について分析し、今後も継続していく震災報道のありようを探っていくことを目標とすることにした。

2-2. 対象番組と分析方法

2-2-1. 方法①：編成・放送時間帯・時間量

本研究では、ニュースやドキュメンタリーなど数ある震災関連番組の中で、東日本大震災が発生した3月11日（以下、3.11）に放送された番組の中で、さらに、M9.0の地震が発生した14時46分の時刻を含む時間帯に放送された特集番組を選び出し、内容を詳細に分析することにした。

対象としたのは、NHK、日本テレビ系列（以下、日テレ系）、テレビ朝日系列（以下、テレ朝系）、TBS系列（以下、TBS系）、フジテレビ系列（以下、フジ系）の5つである。また、対象とした期間は、震災発生から10年の節目の2021年を含む、2019年から2023年の5年とし、そのうち2019年から2022年の4年分については番組内容を項目ごとに分割して、詳細な量的質的分析を行った。

本研究で対象とした5年間25番組の番組名と放送時間帯・時間量など編成内容を以下の表2-1にまとめた。14時46分を含む番組のほかに、当該番組の「前番組」と「後番組」もあわせて記載した。年によって、または局によっては、14時46分以外の時間帯に「震災関連番組」を放送していることがあり、分析の参考にするためである。

また、2020年と2019年のフジテレビ系列で放送された番組「わ・す・れ・な・い」は、14時46分

表2-1 14時46分前後に放送された各局の「震災特番」

年	(前番組)	【3.11特番】	【放送時間】	(後番組)
2023年				
NHK	土スタ『漢字ふむふむ』『スケートボードTV』ほか素顔も暴露！近藤春菜 足立梨花	あの日から12年 ～14時46分 被災地の祈り～	14:30～15:00 (30分)	ニュース・Nスベ5min/みやざから、一佐藤健・神木隆之介 新しい旅のカタチー「2人の宮城の旅に密着！」
日テレ系	King&Prince。▽男のロマン!!超巨大"かまくら"で絶品(秘)アツ鍋!!	いのちを守る新知識every。藤井貴彦×バンキシャ!樹太-▽羽生結弦の思い	14:30～16:30 (120分)	沼る。港区女子高生
テレ朝系	あいつ今何してる? 傑作選 真矢ミキ・小泉孝太郎・おぎやはぎ爆笑&感動の再会!!	ANN報道特別番組 東日本大震災から12年～未来へ つなげる～	14:30～15:30 (60分)	まだアプデしてないの? なにわ男子・藤原丈一郎が待ジャパンの試合実況にガチ挑戦!
TBS系	王様のブランチ春にオススメ!フォトジェニックカフェ巡り▽おしゃれカレールーSP	東日本大震災12年Nスタつなぐ、つながるSP"いのち" 宮城・石巻市から生放送	14:00～15:54 (114分)	TBSニュース/チョコプラの超ヒット商品研究所
フジ系	土曜R!SE!・我流しか勝たん!～生活革命新裏技～【絶品!卵料理&ハンバーグ】	わ・す・れ・な・い 映像教訓 巨大地震から生き延びる	14:30～15:55 (85分)	ガイド/社長の晩酌
2022年				
NHK	東北ココから「あの日、何をしていましたか?」	3.11 伝え続ける ～震災11年 被災地の祈り～	14:32～15:00 (28分)	ニュース/こころフォトスペシャル 「あなたを忘れない 11年目の手紙」
日テレ系	ヒルナンデス!美容のプロが実践する美肌メソッドを公開!▽肌ケアでのNG行為とは	ミヤネ屋【震災11年。風評被害へらずには?迫る原発"処理水"海へ...】	13:55～15:50 (115分)	news every。藤井貴彦、陣内貴美子がきょう一日を分かりやすく
テレ朝系	あいつ今何してる? 傑作選 真矢ミキ・小泉孝太郎・おぎやはぎ爆笑&感動の再会!!	大下容子ワイド!スクランブル 拡大SP	10:25～14:55 (270分)	科捜研の女19 #30
TBS系	ひるおび! 初の外相会談も"進展なし" 両国主張は▽南相馬 ある旅館の11年	NスタSP東日本大震災11年「つなぐ、つながる」復興×SDGs未来を担う人々	13:55～15:49 (114分)	Nスタ
フジ系	バイキングMORE【人気映画監督が女優に「性行為」強要か▽震災から11年】	わ・す・れ・な・い 行動検証 巨大地震その時...	14:45～15:45 (60分)	イット!
2021年				
NHK	列島ニュース	①ごごナマ 東日本大震災 あの日から10年「西田敏行・篠山輝信」 ②ごごナマ 東日本大震災 あの日から10年「西田敏行・篠山輝信」 ③ごごナマ 東日本大震災 あの日から10年「篠山輝信」	①13:40～14:00 (20分) ②14:05～15:20 (75分) ③15:30～16:20 (50分)	【連続テレビ小説】花子とアン (37)「さらば修和女学校」
日テレ系	ヒルナンデス▼ガンバレルーヤとご利益たくさん!開運ツアー☆今年流!花見の楽しみ方	NNN 未来へのチカラ ミヤネ屋×every。×zero×バンキシャ!特別版	13:55～19:00 (305分)	今から1分後もし大災害が起こったら? 命と未来を守る50の方法
テレ朝系	東京サイト 「備蓄食料レシピ」	あの日から10年～東日本大震災 スーパーJチャンネルSP	13:50～15:43 (113分)	相棒12 #18
TBS系	ひるおび!	Nスタスペシャル・東日本大震災10年～つなぐ、つながる～ 井上貴博・ホラン千秋	13:55～15:49 (114分)	Nスタ
フジ系	FNN Live News days	東日本大震災10年。私たちは...わすれない。3.11特別編バイキング×イット!	11:55～19:00 (425分)	VS魂 春の2時間SP DAMASHI魂 最強王決定戦【だまし合い心理戦】
2020年				
NHK	連続テレビ小説 スカーレット (135)「揺るぎない強さ」/ニュース	ごごナマ 特集 東日本大震災から9年「村上弘明 佐藤朱」	13:05～15:30 (145分)	大相撲春場所 四日目
日テレ系	ヒルナンデス!和牛・川西&四千頭身がスタジアムでおしゃれコーデに変身!	ミヤネ屋【新型肺炎!政府緊急対策第2弾 補償十分?▽東日本大震災から9年】	13:55～15:50 (115分)	news every。藤井貴彦、陣内貴美子がきょう一日を分かりやすく
テレ朝系	やすらぎの刻～道 #236 テレビ朝日開局60周年記念	大下容子ワイド!スクランブル 第2部	12:50～15:00 (130分)	事件18
TBS系	ひるおび!	Nスタスペシャル 震災9年の真実～"想定外"から命を守れ	13:55～15:49 (114分)	Nスタ
フジ系	直撃LIVE グッディ!	わ・す・れ・な・い 死者をゼロにする情報とは	15:50～16:50 (60分)	Live News It!
2019年				
NHK	連続テレビ小説 まんぶく (134)「見守りしかない」	ごごナマ 特集 震災から8年▽政府追悼式	13:00～16:00 (180分)	ニュース/大相撲春場所 二日目▽新三役 北勝富士(埼玉・八角)
日テレ系	ヒルナンデス!荻野目洋子生出演!ミュージアム名店調査▽フィギュアスケートあるある	情報ライブ ミヤネ屋	13:55～15:50 (115分)	news every。藤井貴彦、陣内貴美子がきょう一日を分かりやすく
テレ朝系	徹子の部屋 大空真弓	ワイド!スクランブル 第2部	12:30～15:00 (150分)	山村美紗サスペンス 京都～神戸プロボーズ殺人事件
TBS系	ひるおび!	Nスタスペシャル 震災8年～生死を分ける72時間 巨大地震にあなたは?	13:55～15:49 (114分)	Nスタ
フジ系	直撃LIVE グッディ!	わ・す・れ・な・い～平成最後の証言～	15:50～16:50 (60分)	プライムニュース イブニング

を含まない15時50分からの放送であるが本研究の対象番組とした。2020年と2019年のフジテレビでは、14時46分に行われる政府主催の式典などは前番組の総合情報番組の中で伝えていて、その後、震災特番として「わ・す・れ・な・い」を放送するという編成であった。そのため、3.11の震災特番としては14時46分後に放送されたこの番組を研究の対象とすることとした。⁽¹⁾

2-2-2. 方法②：番組内容紹介（EPG）による内容分析

これら5年間25番組について、まず、内容の全体像を把握するため、テレビ誌などの広報媒体や電子番組表（以下、EPG：Electric Program Guide）に表示される番組内容紹介を活用した。EPGの「番組内容」はおおむね80字以下で各番組の内容のサマリーがまとめられているため、番組への制作者側の意図が込められていて、その記述を分析することは、各番組の「ねらい」「番組方針」などを把握し、その特徴や経年変化を明らかにすることに貢献すると考えた。具体的には、およそ80字の紹介内容の文面から以下の12のキーワードを抜き出し、その出現頻度を調べることで番組内容の傾向や経年変化を分析した。注目したキーワードは以下のとおりである。

「津波」「被災」「避難」「追悼」「原発」「復興」
「教訓」「風化」「防災」「備え」「次の」「減災」

2-2-3. 方法③：各項目のテーマ分類と量的質的分析

2019年から2022年までの4年間20番組についてはさらに詳細な内容分析を行い、項目ごとの量的質的分析および経年変化について分析を行った。

4年間20番組については、放送開始から放送終了までをそれぞれ「震災関連項目」「CM」「一般ニュース」「気象情報」「その他」に分類し、それぞれの項目の時間量を秒単位で計測した。さらに震災関連項目については以下の内容についてくわしく分析した。

- 演出（スタジオ・VTR・中継）
- マスコットタイトル（画面上の見出し）⁽²⁾
- 地名（テロップで示される地名）
- 登場人物・氏名（テロップで個人名が出た人）
- 登場人物・肩書き（テロップで個人名が出た人）

番組の内容把握と分類の手がかりとしたのはおもに、番組内容を記した EPG と、画面端に表示されるマスコットタイトルである。本研究では、EPG とマスコットタイトルを分析することでの内容を分類することにした。分類は「津波系」と「原発系」に大別したのち、さらに8つのコードに分類した。コードの内容を以下の表2-2にまとめた。⁽³⁾2つ以上の項目に重複する場合はそれぞれ別項目に計上した。

また、「東日本大震災」以外の災害、または今後起きることが予想されている災害について扱っている項目については「次に来る災害」項目に分類した。さらに、東日本大震災から発展して「地

球温暖化」や「次世代エネルギー」などのテーマを取り上げている項目を「その他」に分類した。このような分類によって、テレビ局ごとの扱うテーマの傾向の違いや2019年から2022年にかけてどのような経年変化が現れているか分析を試みた。

表2-2 テーマの分類

No.	テーマ分類 (大)	テーマ分類 (小)
①	津波系	津波被害・メカニズム
②		人的被害・遺族
③		復興・遺構・伝承
④	原発系	事故究明・廃炉・放射線影響・処理水
⑤		避難・津波被害と遺族
⑥		帰還・復興・遺構・伝承 ※復興五輪
⑦	「次に来る災害」(首都直下・南海トラフ・その他の災害)	
⑧	その他(地球温暖化・次世代エネルギーなど)	

2-2-4. 方法④：「14時46分」追悼式典での映像の取り上げ方について

東日本大震災の発生から1年後の2012年より、3月11日は政府主催の追悼式典が行われ、岩手・宮城・福島など東日本各地の被災地でも追悼行事が行われてきた。

しかしこのところ、政府主催の式典については、2020年にはコロナ禍のため式典が中止、震災10年の2021年には参加者を限定する形で実施。被災地でもコロナ禍による規模縮小を余儀なくされたところが多い。また、2022年以降は、政府主催の追悼式典は行われていない(熊谷百合子2022)。

テレビは、3月11日の震災特番の中で「14時46分」をどう伝えてきたのか。この時間、ほぼすべての番組では政府主催の追悼式典や被災地での追悼行事での黙祷を中心に映像構成し、被災地各地の様子を中継で結び、犠牲になられた方々への祈りの姿を伝えてきた。この演出方法には各番組とも大きな違いは見られていない。ただ、中継で取り上げる被災地の場所とその数には、番組による違いが現れている。

東日本大震災の特徴の一つはその被害範囲のあまりの大きさであるが、メディアが取り上げる「被災地」には偏りがあることがかねてから指摘されてきた(米倉2017、原・大高2019)。本研究では、14時46分を中心とした各番組の演出内容に着目し、どの被災地が中継場所選ばれているかを記録し、メディアが取り上げる被災地の「寡占化」を実証的に検証した。

3. 結果

3-1. 編成の全体傾向

本研究が分析対象とした3.11当日の14時46分を含む時間帯の震災特番の放送時間帯および時間量について以下の表3-1にまとめた。2019年から2023年にかけて、NHKと民放あわせて5局について、上段に放送された時間帯、下段に放送された時間量を記した。民法に関しては、放送時間全体からの民放の番組についてはCMの時間を除外し、さらに震災関連以外の項目を除外した「震災関連項目」のみの実時間を表示した。

2021年のNHKについては2度の一般ニュースによる中断をはさんで3部構成で編成されている⁽⁴⁾。また、2020年と2019年のフジテレビ系列は放送時間帯が14時46分を含んでいないが、前番組の一般ニュース番組の中で各地の追悼式典の様子をニュースとして伝え、その後に震災特番を放送するという編成だったため本研究の分析対象としている。

表3-1 各番組の放送時間帯と時間量（震災関連項目のみの時間を表示）

	NHK	日テレ系	テレ朝系	TBS系	フジ系
2023年	14:30～15:00 30	14:30～16:30 94	14:30～15:30 47	14:00～15:54 102	14:30～15:55 60
2022年	14:32～15:00 28	13:55～15:50 44	10:25～14:55 90	13:55～15:49 96	14:45～15:45 44
2021年	13:40～14:00* 14:05～15:20 15:30～16:20 145	13:55～19:00 208	13:50～15:43 91	13:55～15:49 93	11:55～19:00 212
2020年	13:05～15:30 145	13:55～15:50 42	12:50～15:00 91	13:55～15:49 90	15:50～16:50* 43
2019年	13:00～16:00 180	13:55～15:50 54	12:30～15:00 69	13:55～15:49 94	15:50～16:50* 43

(時:分/分)

表3-1の結果から、震災特番の時間量の増減には各局それぞれ異なる特徴が確認された。

NHKは震災10年の2021年のあと、2022年以降に放送時間が大幅に減少した。2022年の放送時間は28分、2023年の放送時間は30分とほぼ同程度だが、それまでの年の4分の1から5分の1での規模に縮小している。しかし、対象番組の前後の番組の編成を確認すると、本研究の対象とした震災特番以外にも震災をテーマにした番組が放送されたいことが確認された（表2-1より）。ただし、2023年の前番組『土スタ『漢字ふむふむ』『スケートボードTV』ほか素顔も暴露！』には震災とは関係のない内容の番組であった。

2022年

(前番組) 東北ココから「あの日、何をしていましたか？」

(対象番組) 3.11 伝え続ける ～震災11年 被災地の祈り～

(後番組) ニュース／ころフォトスペシャル「あなたを忘れない 11年目の手紙」

2023年

(前番組) 土スタ『漢字ふむふむ』『スケートボードTV』ほか素顔も暴露！⁽⁵⁾

(対象番組) あの日から12年 ～14時46分 被災地の祈り～

(後番組) ニュース／Nスベ5min／みやぎから、－佐藤健・神木隆之介 新しい旅のカタチ－
「2人の宮城の旅に密着！」

民放では日テレ系とフジ系で震災10年の2021年に放送量が大幅に増えていることがわかる。どちらの局も、前後の年の放送時間と比較して3倍近く（日テレ系）から5倍近く（フジ系）、震災関連項目のみの時間で比較すると5倍近い増加であった。また、フジ系では2023年に前年よりも放送時間の増加が確認された。テレ朝系では2023年に放送時間が60分とこれまでの放送時間から半減していた。TBS系では、放送時間、震災関連項目の時間ともにこの期間の大きな変化は見られなかった。

3-2. 番組内容紹介（EPG）による内容分析とその傾向

本研究で対象とした5年間20番組の EPG より12のキーワードを抽出し、出現した数を確認したところを以下のような結果となった。

表3-2 EPG に出現したキーワードの数

津波	7	被災	10	避難	5	追悼	3	原発	3	復興	4
教訓	5	風化	1	防災	1	備え	2	次の	2	減災	1

どのような文脈で出現しているのかを確認するため、以下の表3-3には EPG 原文ともに掲載した（キーワード部分は赤字）。

EPG に使われているキーワードで多いのは「被災」（10回）、「津波」（7回）、「教訓」（5回）、「復興」（4回）「原発」（3回）、「追悼」（3回）といった単語で東日本大震災発生当初から震災報道で広く使われてきた単語であった。いずれも東日本大震災の被災地・被災者への思いをはせる文脈で使われている。

一方、数は少ないものの、東日本大震災をきっかけに「次の災害」への備えを呼びかける文脈で使われていたのが「備え」（2回）、「次の」（2回）、「防災」（1回）。「減災」（1回）といった単語であった。ただ、こうしたキーワードの出現時期に有意な傾向は見られなかった。震災10年をすぎた2022年2023年に増加しているといった傾向も見られなかった。

表3-3 EPGの内容とキーワードおよび分類

2023年	タイトル	番組内容	分類	2021年	タイトル	番組内容	分類
NHK	あの日から12年 ～14時46分 被災地の祈り～	東日本大震災から12年を迎える3月11日。巨大地震が起きた14時46分、被災地では黙祷が捧げられる。復興した町の様子を交えながら各地の祈りを生中継で伝える。	③	NHK	①ごごナマ 東日本大震災 あの日から10年「西田敏行・篠山輝信」	①東日本大震災の発生から10年。スタジオゲストに福島県出身の西田敏行さんを招き、東北各地と中継で結んでお送りする。宮城県取市の開上からは篠山輝信さんが中継で出演。	③
日テレ系	いのちを守る新知識 every、藤井貴彦×パンキッシュ! 樹太-▽羽生結弦の思い	藤井が見た朝市の賑わい▽樹は原発内部へ-▽▽羽生結弦が故郷でアイスショー▽揺れてないのに津波▽帰宅困難で群衆雪崩▽若手・宮城・福島から生中継…旗魂の思い	①③④	日テレ系	NNN 未来へのチカラ ミヤネ屋×every、×zero×パンキッシュ! 特別版	宮根誠司、藤井貴彦、有働由美子が被災者たちを再び取材。福澤晴、夏目三久、池上影が原発爆発映像を解析。羽生結弦の10年。櫻井翔が取材した高校生の今。最新ニュースも	④⑤
テレ朝系	ANN報道特別番組 東日本大震災から12年～未来へ つなげる～	ふよう	①③⑦	テレ朝系	あの日から10年～東日本大震災 スーパーチャンネルSP	東日本大震災の発生から10年…節目を迎える今だからこそ見えてきた課題と、希望を抱き再建に取り組む住民の姿をお伝えします。	③
TBS系	東日本大震災12年Nスタつなぐ、つながるSP「いのち」 宮城・石巻市から生放送	俳優・宮世瑠那が津波の被災語る◆母を亡くし母になり芽生えた思い◆避難は最後まで自分たちで…◆ことも無い決意◆DX避難で命を守れ! 技術者の奮闘◆3、11に生まれた子	①②③⑦	TBS系	Nスタスペシャル・東日本大震災10年～つなぐ、つながる～ 井上貴博・ホラン千秋	「奇跡の救出」で九死に一生を得た高校生は今▼MISIAの被災地での出会い▼サンドが祈り続けた山▼震災にもコロナにも負けぬ!生産者たちの挑戦▼南海トラフへの備え	③⑦
フジ系	わ・す・れ・な・い 映像教訓 巨大地震から生き延びる	福島「中通り」震度6強の脅威…犠牲者8人ダム決壊の何が▽映像検証…都市での避難どうする? 横浜の事例▽関東大震災100年…112歳の生き証人語る教訓	⑤⑦	フジ系	東日本大震災10年。私たちは…わすれない。3.11特別編バキキング×イット!	▽バキキング…坂とサンドがめぐる被災地の記憶▽わ・す・れ・な・い…命を守る行動7つの津波を映像検証イット!特別編…加藤が生報告「未来へつなぐ」思い	①③
2022年	タイトル	番組内容	分類	2020年	タイトル	番組内容	コード
NHK	3、11 伝え続ける ～震災11年 被災地の祈り～	東日本大震災の発生からちょうど11年のこの日。被災地は、亡くなった人へのし、復興への長い歩みに思いを馳せる1日となる。東北被災地の追悼の思いを中継で伝える。	②③	NHK	ごごナマ 特集 東日本大震災から9年「村上弘明 佐藤朱」	ゲストは岩手出身で俳優の村上弘明さんと仙台出身で中学生の時に被災した経験を持つAKB48の佐藤朱さん。故郷への思いを語ってもらいます。	③
日テレ系	ミヤネ屋【震災11年。風評被害へらすには? 迫る原発「処理水」海へ…】	東日本大震災から11年。福島第一原発の今を取材。迫る「処理水」海へ…風評被害へらすには? 魚屋11年間の思い▽霞・ウクライナ両外相の思惑とは	④⑤	日テレ系	ミヤネ屋【新型肺炎!政府緊急対策第2弾補償十分?▽東日本大震災から9年】	“新型肺炎”政府緊急対策第2弾で“休業補償”は十分? センバツ高校野球の行方は?▽東日本大震災9年…若手・宮城・福島から中継	③
テレ朝系	大下容子ワイド!スクランブル 拡大SP	スタジオの気鋭の識者たちが、視聴者に知っておいてほしい情報、抱えている疑問を深掘り解説!*	対象外	テレ朝系	大下容子ワイド!スクランブル 第2部	一番新しいニュースを中継で詳読報!!▽大画面で大下容子が気になる話題を徹底解剖▽最速ニュースランキング▽お立ち天気コーナー(他)*	対象外
TBS系	NスタSP東日本大震災11年「つなぐ、つながる」復興×SDGs未来を担う人々	なぜ? 気仙沼に13人の女性が移住▼都市と地球温暖化が増大させる津波の脅威▼エヴァンゲリオンと最強の防災アプリ▼海の新たな異変と闘う人々▼旗魂と復興の祈り生中継	③⑦⑧	TBS系	Nスタスペシャル 震災9年の真実～“想定外”から命を守れ	東日本大震災から9年の各地の祈り…。【復興】は本当に進んだのか?【想定外】の教訓は活かされたか?あなたの街でも起きうる「身近な危機」から命を守る行動を総力取材。	③⑦
フジ系	わ・す・れ・な・い 行動検証 巨大地震の時…	天井落下で死者2人あの日の教訓…全身15カ所骨折一体何が▽突然の揺れ…隣りがちな「心理の盲点」▽命を守る避難行動のポイント「適切な声かけ」どうすれば?	①②	フジ系	わ・す・れ・な・い 死者をゼロにする情報とは	NHK・ヤフー共同企画「その時」メディアに何ができるのか▽岩手県・釜石市の災害情報はどう伝わっていた?▽「報道空白地域」どうなくす?宮城県・山元町	①③
NHK	ごごナマ 特集 震災から8年 ▽政府追悼式	新沼謙治さん コロケさんを迎え歌や笑いで被災地を励ます活動秘話を伺う▽震災から8年を迎える東北各地の様子を中継▽政府主催の追悼式の様子を伝える【中断Nあり】	③	日テレ系	情報ライブ ミヤネ屋	情報ライブ ミヤネ屋▽みんなが知りたい最新情報を宮根テイストでお届け*	対象外
日テレ系	情報ライブ ミヤネ屋	情報ライブ ミヤネ屋▽みんなが知りたい最新情報を宮根テイストでお届け*	対象外	テレ朝系	ワイド!スクランブル 第2部	一番新しいニュースを中継で詳読報!!▽大画面で気になる話題を徹底解剖▽ニュースランキング▽タカを直送▽お立ち天気コーナー(他)*	対象外
TBS系	Nスタスペシャル 震災8年 ～生死を分ける72時間 大地震にあなたは?	【Nスタ】の井上貴博、ホラン千秋、国山ハセン各キャスターが被災地を取材▽乳児を抱え3夜…孤立生活の全容▽南三陸を襲った引き波の脅威▽震災の記憶を未来へ	①②③	フジ系	わ・す・れ・な・い～平成最後の証言～	近年の研究で防波堤の「減災」効果が明らかに…釜石を襲った津波の本当の脅威を映像検証▼教訓…避難行動の「ロス」どこで生じる▼次の時代へ…証言者たちの思い	①⑦

さらに、EPGの内容が表2-3の8つのコードのどれに該当するかを記載した(表3-3右)。ただし、2022年テレ朝系、2020年テレ朝系、2019年日テレ系、テレ朝系は、EPGの内容が一般的な番組枠の説明であり個別の番組の内容に触れていないため分析の対象から除外した⁽⁶⁾。EPGの内容を8つのコードに基づいて分類すると、以下の4つのパターンに分類された。

- パターンⅠ.「津波系」(②③のみ) 追悼や慰霊、復興を中心に伝える内容
 パターンⅡ.「津波系」(①含む) 津波被害やメカニズムを含む
 パターンⅢ.「原発系」(④含む) 原発事故の検証や処理水問題含む
 パターンⅣ.「次の災害」(⑦含む) 東日本大震災以外の災害含む

20番組を分類した内訳は以下のとおりである(表3-4)。一つの番組を複数のパターンに計上したケースもある。

表3-4 EPGの内容によるコード分類

パターンⅠ(②③のみ)：追悼や慰霊、復興を中心に伝える内容

NHK(2023) NHK(2022) テレ朝(2021) NHK(2020) 日テレ(2020) NHK(2019)

パターンⅡ(①を含む)：津波被害やメカニズム

日テレ(2023) テレ朝(2023) TBS(2023) フジ(2022) フジ(2021) フジ(2020) TBS(2019) フジ(2019)

パターンⅢ(④を含む)：原発事故の検証や処理水問題

日テレ(2023) 日テレ(2022) 日テレ(2021)

パターンⅣ(⑦を含む)：東日本大震災以外の災害

テレ朝(2023) TBS(2023) フジ(2023) TBS(2022) TBS(2021) TBS(2020) フジ(2019)

NHKについては、5年分すべてがパターンⅠに該当した。また、津波被害やメカニズム、原発事故、東日本大震災以外の災害について触れた記述は見られなかった。シンプルに、犠牲者への追悼や被災地の復興に思いをはせる内容に限定した表現に徹しているのがEPGの内容からうかがえた。

民放で特徴的なのは日テレ系であった。震災10年の2021年以降毎年、原発問題の検証を番組の中心に据えていることがEPGの記述にも明記されている。2023年は「原発内部への直接取材」、2022年は「汚染された処理水の海洋放出問題」、2021年は「原子炉建屋爆発映像の再検証」など、毎年内容を変えて原発事故の検証に時間をかけて取り組んでいることを番組紹介の中でも強く訴えている。

2023年のフジ系「わ・す・れ・な・い」は原発事故ではなく、地震の揺れによってダムが決壊し8人が犠牲となって出来事について検証している。

また民放では、「次の災害」への備えを呼びかけるEPGの記述が7番組で確認された。内容は、「次の津波への備えは」(テレ朝系2023)や「身近な危機から命を守る」(TBS系2020)といった一般的な防災への呼びかけや、「南海トラフへの備え」(TBS系2021)といった近い将来起こりうると思われる具体的な災害への備えを呼びかける内容などが見られた。

NHKでは「次の災害」についての記述は見られなかった。

3-3. 各項目のテーマ分類と量的質的分析の結果

2019年から2022年までの4年間20番組について、項目ごとに細分化して詳細な内容分析を行った。番組全体を「震災関連項目」「CM」「一般ニュース」「気象情報」「その他」に分類し、さらに「震災関連項目」のみを抜き出して表2-3のコードに基づいて分類し、コードごとの秒数を以下の表3

表3-5 各番組のコード分類 (時間・秒)

2022年

NHK		日テレ系		テレ朝系		TBS系		フジ系	
①	-	①	-	①	-	①	1217	①	2451
②	-	②	-	②	-	②	751	②	-
③	1130	③	24	③	1480	③	1943	③	-
④	-	④	1684	④	858	④	-	④	-
⑤	-	⑤	-	⑤	-	⑤	346	⑤	-
⑥	175	⑥	1416	⑥	933	⑥	300	⑥	-
⑦	-	⑦	-	⑦	2269	⑦	840	⑦	-
⑧	-	⑧	-	⑧	-	⑧	1000	⑧	-
追悼式典	490	追悼式典	403	追悼式典	466	追悼式典	260	追悼式典	169

2021年

NHK		日テレ系		テレ朝系		TBS系		フジ系	
①	-	①	2937	①	588	①	1125	①	3727
②	636	②	1116	②	462	②	-	②	3032
③	3730	③	3608	③	2121	③	2503	③	2658
④	-	④	3300	④	951	④	-	④	905
⑤	-	⑤	470	⑤	-	⑤	-	⑤	242
⑥	544	⑥	1619	⑥	993	⑥	819	⑥	621
⑦	-	⑦	-	⑦	250	⑦	506	⑦	2049
⑧	-	⑧	-	⑧	379	⑧	-	⑧	-
追悼式典	3146	追悼式典	881	追悼式典	1156	追悼式典	1457	追悼式典	1899

2020年

NHK		日テレ系		テレ朝系		TBS系		フジ系	
①	-	①	-	①		①	627	①	2594
②	833	②	-	②		②	528	②	-
③	4616	③	327	③	2963	③	514	③	-
④	-	④	1463	④		④	-	④	-
⑤	-	⑤	-	⑤		⑤	-	⑤	-
⑥	653	⑥	708	⑥	1904	⑥	1078	⑥	-
⑦	1315	⑦	-	⑦		⑦	1817	⑦	-
⑧	-	⑧	-	⑧		⑧		⑧	-
追悼式典	913	追悼式典	247	追悼式典	459	追悼式典	440	追悼式典	-

2019年

NHK		日テレ系		テレ朝系		TBS系		フジ系	
①	-	①	96	①	997	①	3291	①	2499
②	796	②		②	-	②	82	②	-
③	5291	③	2758	③	315	③	769	③	92
④	-	④	96	④	-	④	-	④	-
⑤	-	⑤		⑤	-	⑤	-	⑤	-
⑥	430	⑥	2505	⑥	220	⑥	-	⑥	-
⑦	-	⑦		⑦	2413	⑦	1676	⑦	-
⑧	-	⑧		⑧	-	⑧	-	⑧	-
追悼式典	3371	追悼式典	129	追悼式典	211	追悼式典	315	追悼式典	-

-5にまとめた。なお、一つの項目について複数のコードに分類しているケースもあるため各コードの秒数の合計は番組の放送時間とは見合っていない。巻末には、分析に使用した「番組データ入力シート」(20番組分)を付表として添付した。

3-3-1. 全体的な傾向

各番組のコード分類について、局による違いや年ごとの変化は確認されたものの、2019年から2022年にかけての全体的な内容の変化や経年推移は確認できなかった。以下、コード分類の結果、明らかになった特徴的な傾向を詳細していく。

3-3-2. NHKの傾向：中庸的な「追悼」「復興」の確認

NHKは毎年の傾向に大きな変化がなく内容が一貫していると言える。コード分類の結果、NHKは③「津波系（復興・遺構・伝承）」に該当する内容が極めて多く、⑥「原発系（帰還・復興・遺構・伝承）」や②「津波系（人的被害・遺族）」などが続いている。

岩手・宮城・福島のおもな被災3県の各地を中継で結び、復興の進捗や課題をバランスよく伝える、というのが一貫した傾向であることが確認された。

一方で、津波被害やメカニズムの検証といった内容に該当する①「津波系（津波被害・メカニズム）」や、福島第1原発事故や廃炉に関する内容に該当する④「原発系（事故究明・廃炉・放射線影響・処理水）」は確認されなかった。

画像3-1 『3.11 伝え続ける ～震災11年 被災地の祈り～』（NHK、2022年3月11日）



NHKでは、東日本大震災の被害への追悼と被災地への復興に思いをはせるという内容に特化している傾向が強く、その他の災害や今後起こりえる災害について取り上げることが少ない。2022年に放送された『3.11 伝え続ける ～震災11年 被災地の祈り～』（画像3-1）では、岩手県宮古市田老地区や福島県大熊町大川原地区を中継で結び、その他、宮城県山元町の震災遺構・中浜小学校などを紹介するなど、各地の復興と被災地での祈りの様子を伝えた。

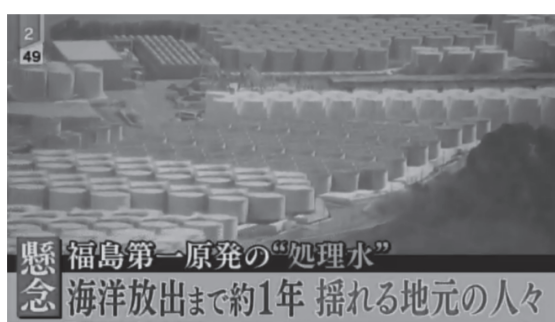
例外的に、2020年の『ごごナマ 特集 東日本大震災から9年』では⑦「次に来る災害」に該当する「命脅かすフレイルを防げ」が取り上げられている。これは、2019年10月に台風19号の被害にあった宮城県丸森町の避難所での震災関連死「フレイル」についての注意を呼びかけたものである。

3-3-3. 民放での原発問題の取り上げ方について

原発問題については、日テレ系が2020年以降、長い時間を費やして取り組んできていることが確認された。

2022年に放送された『ミヤネ屋【震災11年。風評被害へらすには？迫る原発“処理水”海へ…】』（画像3-2）では、福島第1原発の敷地内で増え続けるトリチウムなど放射性物質を含む処理水の処分方法について、国の基準を下回る濃度に薄めたうえで海へ放出するという政府の方針に対する地元の鮮魚店などの反発や怒りをおよそ28分にわたって伝えた。この年、日テレ系が伝えた「震災関連項目」の全体の時間44分の半分以上をこの問題に費やしたことになる。

画像3-2 『ミヤネ屋【震災11年。風評被害へらすには？迫る原発“処理水”海へ…】』（日本テレビ系列、2022年3月11日）



また、震災10年の2021年『NNN 未来へのチカラ ミヤネ屋×every.×zero×バンキシャ！特別版』（画像3-3）では、1号機の水素爆発の瞬間を唯一捉えた福島中央テレビの取材の舞台裏や、最新技術を用いて映像を鮮明化し、爆発の瞬間に何が起きていたのかなど55分にわたって再検証を行った。その他、道筋の見えない「処理水問題」やデブリの取り出しの問題など、多岐にわたって原発問題を取り上げている。

画像3-3 『NNN 未来へのチカラ ミヤネ屋×every.×zero×バンキシャ！特別版』（日本テレビ系列、2021年3月11日）



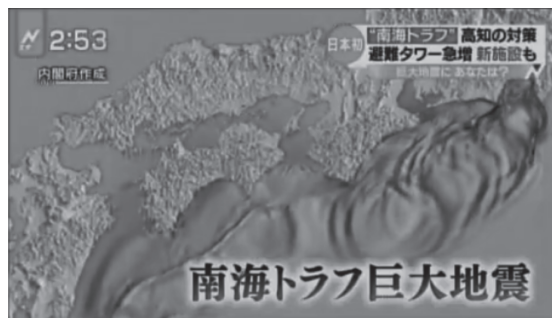
3-3-4. 「次に来る災害」を扱った項目の出現について

3月11日は言うまでもなく東日本大震災の被災地や災害の犠牲者に対して思いをはせる日である。

しかし、この日に放送される震災特番の中にも、首都直下地震や南海トラフ巨大地震など、「次に来る災害」や東日本大震災以降に発生した地震等を取り上げ、今後の備えを呼びかける内容が数多く見られるようになった。

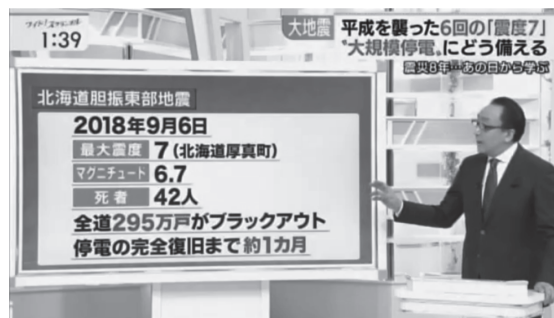
2019年のTBSで放送された『Nスタスペシャル 震災8年 ～生死を分ける72時間 巨大地震にあなたは?』（画像3-4）では、南海トラフ巨大地震が発生した際に大きな被害が予想されている高知県を取り上げ、「最短で地震発生から16分」で津波が到達する事態に備えるための避難タワーの急増していることなどをおよそ28分にわたって放送した。

画像3-4 『Nスタスペシャル 震災8年 ～生死を分ける72時間 巨大地震にあなたは?』（TBS 系列、2019年3月11日）



また、同じ2019年のテレビ朝日『ワイド!スクランブル 第2部』（画像3-5）では、前年の2018年9月に起きた北海道胆振東部地震での大規模停電について取り上げ、これから起こりうる地震の際の大規模停電にどう備えるかを検証した。

画像3-5 『ワイド!スクランブル 第2部』（テレビ朝日系列、2019年3月11日）



3-3-5. 新しいテーマ、その他のテーマの出現について

これまでになかった新しい切り口の震災特番の企画も見られるようになってきている。2022年のTBS『Nスタ SP 東日本大震災11年「つなぐ、つながる」復興×SDGs 未来を担う人々』（画像3-6）では、三陸の海中からの生中継などを使い、磯焼けした海の様子と地球規模の環境の変化との関連を指摘するなど、温暖化によって津波の規模に影響しかねない懸念などを報告した。

画像3-6 『Nスタ SP 東日本大震災11年「つなぐ、つながる」復興×SDGs 未来を担う人々』
(TBS 系列、2022年3月11日)



また、2021年のテレビ朝日『あの日から10年～東日本大震災 スーパーJチャンネル SP』（画像3-7）では、震災後の福島県の多くのゴルフ場で太陽光パネルが設置され再々可能エネルギーの一大基地になろうとしていたり、太陽光を活用した水素生産に乗り出したりしている取り組みが紹介された。

画像3-7 『あの日から10年～東日本大震災 スーパーJチャンネル SP』（テレビ朝日系列、2021年3月11日）



SDGs や次世代エネルギーといったテーマを震災特番で取り上げたケースは、震災発生からしばらくは見られなかった傾向である。

また、2020年のテレビ朝日（画像3-8）では、この年の夏に開催される予定だった東京オリンピック・パラリンピックに向けて、聖火リレーのスタート地点となっていた福島県楢葉町のJヴィレッジの様子を中継で伝え、予定されているコースなどを紹介した。

画像3-8 『大下容子ワイド! スクランブル 第2部』（テレビ朝日系列、2020年3月11日）



3-4. 追悼式典・追悼行事の放送時の中継場所について

本研究の対象である3.11当日の震災特番の中で、「14時46分」はどう伝えられてきたのか。今回対象とした2019年から2022年にかけての5局20番組で、14時46分前後の時間帯、追悼式典や各地の追悼行事にあわせて映像構成された中継地点を以下の表3-6にまとめた。

表3-6 14時46分前後に中継された被災地

2022年	日テレ	テレ朝	TBS	フジテレビ
NHK				
宮城県女川町 女川駅前	岩手県陸前高田市	岩手・宮古市 田老の防潮堤	福島県追悼復興祈念式典（福島市）	東京・九段会館
岩手県陸前高田市 復興祈念公園	宮城県仙台市	宮城・南三陸町 旧防災対策庁舎	福島第一原発	岩手・宮古市田老
宮城県東松島市 大曲地区	岩手県大槌町	福島・双葉町 東日本大震災・原子力災害伝承館	中間貯蔵施設（福島県双葉町）	宮城・名取市関上
宮城県石巻市	宮城県石巻市		大川小学校（宮城・石巻市）	福島・大熊町
岩手県宮古市田老地区	宮城県石巻市 大川小学校		防災対策庁舎（宮城・南三陸町）	岩手・陸前高田市
福島県大熊町大川原地区	宮城県南三陸町		高田松原津波復興祈念公園（岩手・陸前高田市）	
福島県双葉町			福島県双葉町	
宮城県名取市関上地区				
2021年				
NHK				
国立劇場	宮城県石巻市	東京国立劇場	岩手県陸前高田市	宮城県名取市
岩手 陸前高田	宮城県仙台市	宮城県石巻市	宮城県南三陸町	岩手県陸前高田市
宮城 名取 関上地区	宮城県女川町	福島県いわき市	岩手県陸前高田市	岩手県山田町
福島 双葉町	宮城県名取市	福島県大熊町	宮城県石巻市	福島県広野町
東京 日本科学未来館	岩手県大槌町	宮城県気仙沼市	福島県双葉町	岩手県大船渡市
	福島県南相馬市	岩手県陸前高田市		宮城県気仙沼市
	福島県双葉町	宮城県名取市		福島県浪江町
	宮城県南三陸町	埼玉県三郷市		
	福島県相馬市	宮城県山元町		
	岩手県陸前高田市	岩手県大船渡市		
	岩手県大船渡市			
	福島県浪江町			
2020年				
NHK				
首相官邸	宮城県石巻市	テレ朝	TBS	フジテレビ
岩手・陸前高田	宮城県南三陸町	福島県浪江町（中継）	関上地区（宮城・名取市）	（該当なし）*
	福島第一原発	宮城県石巻市 大川小学校	岩手・陸前高田市	
	福島県双葉町	福島県浪江町	福島・富岡町	
	岩手県陸前高田市	福島第一原発		
	岩手県宮古市田老地区	岩手県宮古市田老地区		
	岩手県宮古市田老地区	宮城県南三陸町		
	宮城県仙台市	岩手県陸前高田市 奇跡の一本松		
2019年				
NHK				
国立劇場	宮城・石巻市	テレ朝	TBS	フジテレビ
岩手釜石	宮城・気仙沼市	東京・国立劇場	釜石折りのパーク（岩手・釜石市）	（該当なし）*
福島 浪江町	岩手・宮古市	岩手・宮古市	Jヴィレッジ（福島・樽葉町）	
東京港区	岩手・陸前高田市	宮城・南三陸町	旧気仙沼向洋高校	
	福島・南相馬市	宮城・大川小学校	東京・国立劇場	
	福島第一原発	岩手・大槌町旧役場跡地		
	東京・国立劇場	福島第一原発発電所		
		福島・浪江町		
		岩手・陸前高田市		
		宮城・気仙沼向洋高校旧校舎内		
		福島・いわき市		
		宮城・石巻市		

表3-6にまとめた被災地の中で登場回数が多い被災地を、自治体ごとにまとめたのが表3-7である。「奇跡の一本松」のように象徴的なモニュメントが存在する岩手県陸前高田市や被災規模が大きかった宮城県石巻市、避難指示が解除された福島県双葉町などの登場回数が増えている。

表3-7 登場回数が多い被災地

13回	岩手県陸前高田市
9回	宮城県石巻市（うち2回は大川小学校）
7回	福島県双葉町
7回	宮城県名取市
6回	宮城県南三陸町
5回	岩手県宮古市
5回	国立劇場（東京）
4回	宮城県気仙沼市
3回	福島県大熊町
3回	福島県浪江町
3回	仙台市
3回	岩手県大船渡市
3回	福島第1原発

4. まとめと考察

4-1. 全体的な傾向について

本研究で対象とした2019年から2023年にかけては、震災報道にとって特別な意味を持つ期間である。政府は、発災直後の2011年7月に策定した「東日本大震災からの復興の基本方針」において、復興期間を2021年度までの10年間と定めていた。震災発生から10年となる2021年を含む本研究の対象期間は、震災報道のあり方が大きく変わりがねない時期でもある。

実際、表3-1で示したように、2021年には一部の局で、それまでの年を大幅に上回る規模で放送に臨んだ局があり、また、翌年の2022年以降、NHK・一部の民放では放送時間が短くなっていた。

今回の研究では、14時46分を中心とした震災特番だけでなく、前後の番組にも視野を広げて調査対象としたが、震災直後から数年間の3月11日はほぼ丸一日、震災関連の番組が放送されていた観があるが、いまでは14時46分周辺が「聖域」のように残された時間帯となっている。震災10年という大きな節目が、今後の震災報道の退潮のきっかけとなっていくことがないよう注視していくことが必要である。

4-2. NHKの震災特番はなぜ「中庸」なのか

今回の分析によって際だった傾向が浮き彫りになったのがNHKである。調査対象とした5年間、大きなテーマの違いが感じられず、岩手・宮城・福島の各被災地の復興の進捗や被災地での追悼の様子をバランスよく取り上げている印象が強い。内容についても、津波被害の検証、津波のメカニズム、原発事故に関する問題や廃炉の進捗などにはふれず、東日本大震災以降に発生した災害につ

いてふれることもほとんどない。

NHKがこのような「中庸」な内容に徹しているのには、14時46分前後の震災特番以外に、現在も数多くの震災関連番組をこの時期に放送していることが影響していると思われる。NHKでは、震災特番の他にも朝のニュース「おはよう日本」や夜のキャスターニュース番組ニュースウオッチ9などではシリーズで震災を伝えている。他に、さまざまな番組でも震災を取り上げているが、2023年3月に放送されたNHKスペシャルだけでも以下の6本が放送されている。

- 3月 4日 「南海トラフ巨大地震 第1部 ドラマ（前編）（後編）」
- 3月 5日 「南海トラフ巨大地震 第2部 “最悪のシナリオ”にどう備えるか」
- 3月11日 「海辺にあった、町の病院 ～震災12年 石巻市雄勝町～」
- 3月12日 「震災12年 復興の地図 ～“希望の芽”を探して～」
- 3月18日 「メルトダウン File.8 前編 原発事故・危機の88時間」
- 3月19日 「メルトダウン File.8 後編 事故12年目の“新事実”」

このように多面的に震災を伝える編成があるがゆえに、3.11当日の震災特番に関しては、復興の進捗と被災地の祈りを伝えることに徹する、というシンプルな姿勢に帰結しているものと思われる。

4-3. 民放（特に日テレ系）の原発問題の取り上げ方について

今回の分析で、際だって特徴的な傾向として浮かび上がったのは、民放（特に日テレ系）の原発問題の積極的な取り上げ方である。この傾向が、どのような方針や意思決定から導かれているものなのかは、番組の内容からは把握することはできなかった。

日本テレビ系列ではNNNドキュメントというドキュメンタリー番組が長く放送され、震災関連のドキュメンタリーについても多数番組を放送している。2023年になってから放送されたNNNドキュメントの中で震災関連のものをあげると以下のとおりであるが、原発関連のテーマの番組は放送されていない。今後は、ドキュメンタリー番組での原発問題の掘り下げを期待していきたい。

- 2月12日 高台からの祈り～福島・津波被災地 12年の記録～
- 3月 5日 悔い～震災12年 あなたを想うとき～
- 4月23日 ひとりじゃない 家族になったボクとおばちゃん
- 7月16日 それでも、海はある～未来へつなぐ 大好きな景色～

4-4. 「次に来る災害」を考える3.11 ～新たな「防災の日」として～

3月11日に放送する番組で、東日本大震災ではなく、他の災害やこれから起こりうる災害について、防災や減災の側面から考える、という切り口は、震災直後数年間は存在しなかった。今回の分析では、調査を開始した2019年から「次に来る災害」について取り上げある項目は確認され、震災10年を経て（大きな増減は確認されなかったが）、いまなお継続して放送され続けている。

原・大高（2019）は、震災関連番組の内容が、被災地の様子や被災者の状況を伝えるものから、次に起こるかもしれない災害への備えや防災・減災に比重が移りつつあることを踏まえ、「次々と自然災害が発生し、被災地と呼ばれる地域が増える中、東日本大震災の被災が相対化され、遠景化していくのは、ある意味、仕方がないことかもしれない」と指摘している。未曾有の大きな被害を引き起こし、2万人近い人命を一度に奪った東日本大震災について、被災地の復興を見つめ、犠牲者に追悼の思いを寄せていく報道はこれからもその役割に変わりはないはずである。

しかし一方で、あの震災を強烈な「実体験」としては記憶していない若い世代が日本社会に占める割合は年々高まっていく中で、東日本大震災の経験を「次の災害」に生かす教訓に昇華していくことも同時に必要なことである。

ことし2023年は関東大震災から100年を数える年であり、関東大震災が発生した9月1日はいまでも「防災の日」として日本人と日本社会に記憶された日である。そこに新たに3月11日も防災・減災について真剣に思いをめぐらす日となり、震災報道がその一助となろうとしているのか。今後の研究を通じて見つめていきたいと思う。

文献

- 熊谷百合子（2022）「東日本大震災から11年、放送はどう伝えたか」『放送研究と調査』MAY2022
- 田中孝宜（2014）「東日本大震災報道—NHKの初動から72時間の災害報道を中心に—」『放送メディア研究』No.11
- 原由美子（2015）「震災後3年間 テレビ番組で何が伝えられてきたのか ドキュメンタリー番組で描かれた被災者、被災地」『文研年報2015』Vol.59
- 原由美子（2017）「東日本大震災から5年 テレビ番組は何を伝えてきたか 夜のニュース番組とドキュメンタリー番組」『文研年報2017』Vol.61
- 原由美子・大高崇（2019）「3.11はいかに語り継がれるか—東日本大震災後7年・テレビ報道の検証—」『NHK放送文化研究所年報2019』
- 古澤健・米倉律（2022）「震災関連ドキュメンタリーの10年—被災地・被災者の表象とテーマに関する内容分析を中心に—」『ジャーナリズム&メディア』第17・18号
- 古澤健（2022）「震災関連ドキュメンタリー、10年を越えて問うていくもの—『次に来る災害』に向けた番組群の分析—」『ジャーナリズム&メディア』第19号
- 米倉律（2017）「震災テレビ報道における情報の『地域偏在』とその時系列変化」『ジャーナリズム&メディア』第10号

注釈

- (1) 2019年・2020年、フジテレビ系列で14時46分を含む時間帯に放送されたのは「直撃LIVE グッディ！」
- (2) マスコットタイトルとは画面右上または左上などに表示される「小見出し」のことである。NHKでは「マスコット」と呼称するが、民放では「サイドスーパー」と呼ぶことが多い。
- (3) そのため、コード別に分類した項目の秒数を合計すると、番組の項目時間の合計を上回ることがある。
- (4) テレビ欄や編成上は別番組の扱いになっているが、内容は1つの番組の3部構成である。
- (5) EPGの番組内容は「近藤春菜さんは『漢字ふむふむ』に声で出演。漢字の奥深さをバラエティーで体

現！足立梨花さんは『スケートボード TV』に出演。クールな魅力を体感！二人の素顔も公開！」とあり
震災関連番組ではない。

- (6) EPG の番組内容が当日当該番組の個別内容ではなく、番組枠の一般的な紹介であったため対象から除外した。